

第 11 期浜益区地域協議会（R7. 10～R8. 3）の総括

1. 会議の状況

（1）任期中の会議の開催状況

- ・令和7年度 第6回～第11回（予定） **計6回**

（2）議論されてきた主な内容

- ①地域自治区振興事業について
- ②浜益の交通事業について
- ③火葬場の統合について
- ④庁舎以北の交通体系について
- ⑤新地域協議会条例について
- ⑥石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について
- ⑦浜益地域ビジョン案について

2. 第 11 期委員による振り返り

- ・全員が第 10 期からの継続であったため、議論はスムーズだった。忌憚なく議論ができた。
- ・新地域協議会の構成についてもゼロベースから議論ができた。

3. 今後の浜益のまちづくりに必要だと思うこと（第 10 期より継続）

- ・「地域住民の小さなささやき」を聞き取り、具現化するために仲間を増やすこと。
- ・交通、買い物弱者などの対策、高齢者の生活サポート事業。
- ・浜益の魅力発信のための取組をさまざまな方法で継続していくこと。
（イベントや観光スポット施設の設置など）
- ・担い手不足の解消、雇用の確保に、行政、地域協議会、地域が一丸となって協力すること。
- ・住民の思い、目的意識の共有ができる、オープンな場を作ること。
- ・誰もが熱い気持ちを持ち、まちづくりに積極的に参加すること。
- ・地域の様々な課題について、地域おこし協力隊、集落支援員の拡充など、多方面で対策を講じていくこと。

4. 地域自治区振興基金の今後について（第 10 期より継続）

- ・区民カレンダーの継続について考えていくこと
- ・既存の事業のみならず、浜益の地域課題解決や、これからの地域づくりにつながる事業を積極的に支援していくこと。

5. 新しい地域協議会に望むこと（第10期より継続）

- ・第11期の地域協議会で共有されたまちづくりのビジョンを元に、浜益の今後を考えていくこと。
- ・まずは浜益の未来の幸せや、住民の声が届く組織とすること。住民が安心、安全で幸せな生活ができる地域づくりを目指す地域の人を応援する組織であること。
- ・地域住民や団体と行政の橋渡し役を担うこと。
- ・各委員の所属団体のメンバーにも情報共有し、巻き込み意見を出し合うこと。